



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 39 号
令和 3年10月 6日

生徒会役員選挙に思う

校長 古市 直彦

以前は体育館で立ち会い演説会と投票を行っていた次期生徒会役員選挙ですが、本年度も、昨年度に引き続き、各教室でテレビ放送による演説を聞き、学年毎に2教室に分散させた投票所で投票するという形で実施しました。

コロナ禍のもと、制限ある学校生活が続いている関係で、生徒会活動も思うようにはできない状態が続いています。例年行っている朝の選挙活動（挨拶運動）も、事前に撮影した動画を各学年の廊下で大画面テレビで流す形に変えました。それでも、投票直前の演説では、当日の立候補者たちは、若松中をより良いものにしたいという気持ちで、自分の主張を語ってくれていました。

投票の結果、右の7名が信任されました。

【生徒会長】	_____	さん (2-4)
【副会長】	_____	さん (2-1)
	_____	くん (2-5)
【書記】	_____	さん (1-3)
	_____	さん (1-5)
【会計】	_____	くん (2-6)
	_____	くん (1-5)



真剣に話を聞く1年生



放送室での演説風景



密を避けて投票



また、緊急事態宣言の発令中で部活動も実施できなかった9月、選挙管理委員の皆さんは、放課後に残って準備を進めてくれていました。おかげで、今後の若松中のリーダーを無事に選出することができました。

選挙管理委員長を務めてくれた、_____さん (3-2) に感想を聞いてみました。



影でがんばった選挙管理委員の皆さん

今回の生徒会選挙が終わって感じたのは、全校生徒全員の協力でこの選挙をすることができたということです。

クラスに今回の選挙内容を伝えるとき、全員がしっかり話を聞いてくれました。だから、当日の運営もスムーズに行うことができていました。他のクラスを見回ったときも静かに投票していたので、選挙管理委員に協力してくれていて、とても嬉しかったです。結果として全員が当選していたので、見回ることができなかった1・2年生も、しっかりとした態度で投票してくれたんだなと思いました。

今回の投票で、これからの若松中を背負っていく人を私たちが決めたので、私たちも責任をもって新しい役員に協力し、若松中をより良い学校にしていきたいと思います。

選挙管理委員長 _____ (3-2)



合唱コンクールの中止に際して

教頭 _____

9月30日(金)、本誌で合唱コンクールの中止をお知らせしました。その日の帰りの会で、全校生徒にも私から放送で「今年は合唱コンクールを実施しない」という旨の連絡をしました。放課後、臨時の合唱コンクール実行委員会を開き、校長と実行委員会担当の____から実行委員の皆さんに、決断に至った経緯や理由等を説明しました。私もその場に同席しましたが、真剣に話を聞こうとしていた実行委員の皆さんの姿に感銘を受けました。心の中では、複雑な気持ちが入り混じっていたのではないのでしょうか。特に、中学校最後の合唱コンクールに向けてがんばっていた3年生にとって、中止の決定はショックが大きかったはずですが、その気持ちを心にしまい、皆さん最後まで立派な態度を通してくれました。

合唱コンクール実行委員長の____くん(3-3)に、「実行委員長として、何かみんなに伝えたいメッセージがあったら原稿を書いてみないか」と勧めたところ、次のようなメッセージを書いてくれました。紹介させていただきます。

**後日撮影に応じてくれた実行委員の皆さん
最後は笑顔でピース！**



「合唱コンクールは中止」というお知らせのあった日の放課後、合唱コンクール実行委員が集められ、決断した理由や先生たちの思いを、直接、校長先生や____先生から伝えられました。校長先生も____先生も涙を流され、先生たちの悔しさや、心がいなさという感情が伝わってきました。

私自身も「今年は大きなホールで歌えるぞ！」と合唱コンクールを心待ちにしていたので残念な気持ちは大きいですが、合唱コンクールに注いでいたエネルギーを普段の生活や受験勉強に変換できるようがんばります。

生徒の皆さん。合唱コンクールはなくなってしまいましたが、日常の学校生活でクラスの団結力を深めるチャンスはたくさんあるはずですよ。クラスの絆を深めることを目指して、前向きにがんばりましょう。

最後に、これまで実行委員活動をサポートして下さった先生方、生徒の皆さん。本当にありがとうございました。

合唱コンクール実行委員長 _____ (3-3)

